

にじのまどぐち

2025年
第1号

久留米大学では安心して医療を受けられる環境を目指して、2024年11月に「LGBTQ+※支援ワーキンググループ」を発足しました。発足したばかりで課題が多くありますが、現時点でできるサポート内容や新しく挑戦していることなど情報を発信し、少しでも多くの方に「ここなら相談できる」と感じていただきたいと考えています。

※ LGBTQ+とは、女性同性愛者（L）、男性同性愛者（G）、両性愛者（B）、出生時に割り当てられた性とは異なる性で生きる人（T）、従来の性の枠組みにとらわれない多様なセクシュアリティや性自認をもつ人（Q）、さらにこれらに含まれない多彩な性をまとめた総称になります。

LGBTQ+支援ワーキンググループの作成する「にじのまどぐち」では、私たちがどのようなことを考え取り組もうとしているのかを発信していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。



久留米大学病院 KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

2025年9月5日のLGBTQ+支援ワーキンググループのミーティングに集まったメンバーで撮影しました。医療センターからも駆けつけてくれました！医師、看護師、事務、受付スタッフなど、職種をこえて定期的に話し合いを重ねています。



久留米大学は去年ワーキンググループを立ち上げたばかりなのに、もうリーフレットを作るなんて、ちょっと早すぎるんじゃない？きちんと対応できないと、余計に患者さんを傷つけることにならないの？

LGBTQ+の方達は病院の環境が不安なために受診できず、治療できずにいるという切実な事実があるのよ。だから私たちも迷ったのだけど、少しでも早く患者さんに受診していただけるように、久留米大学が今対応できることとこれからの課題を正直に発信していこうと決めたの。





現在ワーキンググループで取り組んでいることを少しだけ紹介します。

トイレ表示



私たちは、多目的トイレの表示を「みんなのトイレ」にできないか調整しています！

どんなことに気をつけていますか？



今までの表示と変わることで、患者さんが困らないように気をつけています。

レインボーを主張しすぎない方がみんなが使いやすいのではないかと考えています！



※トイレ表示の変更に向けて調整を続けています。変更できましたら、「にじのまどぐち」を通じてお知らせいたします。

制度のこと



私たちは患者さんの治療に関わるキーパーソンや同意者についての制度を整える活動を始めました。

活動を始めたら嬉しい気づきがあったのですよね？



そうなんです。私たちもちゃんと認識できてなかったのですが、久留米大学ではすでに制度が整っていたのです。嬉しくて、早くみんなに知らせたい！と思いました。

※【久留米大学病院 インフォームド・コンセントに関する細則 第3条第11号】
代諾者は原則として家族、代理人、患者の利益擁護者等とし、続柄及びその理由を記載する。

LGBTQ+支援ワーキンググループはまだ始まったばかりです。お気づきのことやご意見などありましたら、こちらのQRコードからご意見をお寄せください。患者さんや色々な部署の職員さんからのご意見もお待ちしています。みんなで一緒に考えていきましょう。

